



継続する事に意味があるんです

Fumie Wachi

お神楽との出会い

一昔前までお神楽に女性の舞い手はいませんでした。その中、当時の区長さんが「舞い手に女性もいたら華やかじゃないか」と言う事で声をかけられたのがきっかけです。最初は何も知らずに始めたお神楽ですが、先輩方が舞っているお神楽を見て、笛や太鼓が奏でる「楽」の音といますか、その雰囲気・空気に一気に惹き込まれましたね。

伝承行事を大事にする想い

伝承行事は一度絶やしてしまうと復興するのが難しいんです。どこにもあるわけじゃない。だからこそ、今ここにある桂川町の誇りある伝統を守って、絶やさず子どもたちに残していきたいんです。



土師お神楽 和智 富美恵

出会いから教わったこと

Shiseki Yachigo

郷里を離れて思ったこと

16歳〜25歳までの間は、焼き物の修行のため桂川を離れて、県外で生活していました。若さゆえの迷いや失敗も沢山ありましたが、その度に、人として大切なことを色んな方から教わったんです。今思えば自身の感性を形づくる大切な時期だった気がします。そんな出会いを心から大切に出来たのは、桂川での子ども時代が基盤にあると思います。

地域で育てる子どもたち

桂川は、伝統行事などを通して、子どもと大人が関わる機会が多いんです。目的に向かってお互いが真剣に接することで、子どもたちは自然と社会や人の向き合い方を学び取っていくような気がします。